

事業番号	10 02 01	事業改善シート(令和3年度実施事業分)		□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検	
事業名	林業関連教育・研究開発の推進及び普及関係事業	部局	林務部	課・室	信州の木活用課
		実施期間	S33 ~	E-mail	ringyo@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)					
8つの重点目標	①付加価値を高め、経済成長を実現 ⑥様々な人の労働参加を全国トップに		②県民の豊かさ全国トップレベルを維持		
総合的に展開する重点政策	1-3 高等教育の振興による知の拠点づくり		2-4 収益性と創造性の高い農林業の推進		2-6 郷学郷就の産業人材育成・確保

1 事業の概要

事業の現状・目指す姿(予算編成時)及び実施内容	【現状】 ○県内の森林・林業を支える教育・試験研究機関は少なく、充実を図る必要があり、また、森林・林業を普及・啓発し、持続的な森林育成や発展を目指す必要がある。
	【目指す姿】 ○森林を活かす力強い林業・木材産業づくりのため、課題解決に向けた試験・研究や教育の充実を図り、健全な森林の育成や関連産業の効率的発展を目指す。 ・林業大学卒業生における、林業・木材産業関係分野への就業者の継続的な確保。 ・林業総合センターの試験・研究の促進。
	【実施内容】 ・高性能林業機械やタブレット端末といった先進技術を導入した専門的、体系的な授業の実施。 ・老朽化した学生寮を改築し、学生が安心して学業に専念できる環境を整備するとともに、ゼロカーボン社会実現のため、熱源には木質バイオマスボイラーを導入。 ・森林・林業に関する知識・技術の普及啓発のため、各種研修、指導及び情報発信を実施。

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし、-:数値なし]									
No	成果指標	単位	R1年度	R2年度	推移	R3年度	推移	R3年度目標値	達成状況
1	林業大学卒業生で就業した者の林業関係分野への就業率	%	70.0	90.0	↑	88.9	↓	80.0	達成
2	林業総合センターの研究成果の発表件数	件	95	72	↓	78	↑	80	未達成
3	体験学習の森の講座定員充足率	%	85.6	89.0	↑	94.0	↑	85.0	達成
4	林業大学卒業生のうち県外出身者の県内就業率	%	50.0	37.5	↓	28.6	↓	60.0	未達成
5									

区分(単位:千円)	R1年度	R2年度	R3年度
前年度繰越額	0	0	472,716
当初予算額	117,281	628,646	231,540
補正予算額	-26,982	-28,173	24,318
合計(A)	90,299	600,473	728,574
うち一般財源	66,306	563,005	675,493
決算額(B)	86,688	416,916	184,381
職員数(人)	86.9	86.9	85.9

成果指標及び目標値の設定理由	1. 林業大学の学生が林業の担い手として、その知識等が活かせるための指標(過去の実績を基に設定) 2. 林業総合センターの研究・試験成果を広く周知し活かすための指標(過去の実績を基に設定) 3. 県民参加の森林林業講座の中身の充実を図るための指標(過去の実績を基に設定) 4. 林業大学の県外出身卒業生が、県内で林業の担い手として、その知識が活かせるための指標(過去の実績を基に設定)
達成状況の分析	1. 4年制大学(林学)への進学者が減り、林業・木材産業関係分野に就職した者が増加したため 2. 新型コロナウイルス感染症対策により、研究成果発表会の開催を見送ったため 3. 他のイベントの多くがコロナ禍で中止となる中、感染予防対策をとりながら野外で実施した講座に多数の参加があったため 4. 家業を継ぐなど、地元での就職志向が強かったため

主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ○ 林業大学における次代の担い手の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・適正な学校運営 ・学生寮の改築・完成 ・森林資源の循環利用のためのチップボイラーの導入 ○ 林業総合センターの試験研究・開発の促進 <ul style="list-style-type: none"> ・試験研究装置を活用した高品質・高強度な大径カラマツの新製品開発 ・マツタケ菌感染苗木によるマツタケ人工栽培の試験・開発 ・一貫作業システムによる低コスト再造林施業モデルの開発 	 <p style="text-align: center;">林業大学校 男子学生寮</p>
------	--	---

2 今後の事業の方向性

	課題等	今後の方向性
今後、事業をどのようにしていきたいか	<ul style="list-style-type: none"> ・林業大学校においては、質の高い人材の育成を図るとともに、林業分野を目指す学生の確保を図るために、学校の魅力を高めていくことが必要である。 ・長野県の強みであるカラマツ大径材とマツタケを活かした山村の活性化や林業の生産性向上を通じて健全な森林づくりに貢献するための試験研究・開発が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全教育の強化やICT技術を活用したスマート林業などのカリキュラムを実施するとともに、学生が安心して勉学に励むことができる環境を整備し、林業大学校における次代の担い手の育成を図る。 ・長野県の強みであるカラマツ大径材とマツタケを活かした山村の活性化や林業の生産性向上を通じて健全な森林づくりに貢献するための試験研究・開発を進める。

事業名	林業関連教育・研究開発の推進及び普及関係事業	部局	林務部	課・室	信州の木活用課
-----	------------------------	----	-----	-----	---------

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
1	林業大学校関係事業	38,025 千円	365,483 千円	117,701 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)	
1	林業大学校費	直接	林業の担い手確保のため、高性能林業機械やタブレット端末といった先端技術を導入した専門的、体系的な授業の実施 【林業大学校卒業生18名(うち林業分野への就職16名) 88.9%】	
2	林業大学校教育環境整備事業	直接	・老朽化した学生寮を改築し、学生が安心して学業に専念できる環境を整備 【令和4年2月10日:内覧会 令和4年3月24日:竣工式】 ・ゼロカーボン社会実現のため、熱源には木質バイオマスボイラーを導入	

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
2	研究開発の推進及び普及関係事業	48,663 千円	51,433 千円	66,680 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)	
1	林業改良普及事業	直接	森林・林業に関する知識・技術の普及啓発のため、各種研修、指導及び情報発信を行う 【林業普及指導員研修実施回数:5回】	
2	林業総合センター管理費	直接	・林業総合センター施設の管理運営業務 ・ホームページの充実	
3	林業総合センター試験研究普及費	直接	森林・林業に係る多様な課題解決のために、技術開発・試験研究を実施 【研究成果の発表件数: 78件】	
4	林業総合センター体験学習の森事業費	直接	森林・林業に関する県民への普及啓発のため、公開講座開催を実施 【実施回数:森林教室 15回、森の勉強会 0回 [※] 、森林体験講座8回】 ※新型コロナウイルスの感染拡大により開催見送り	